

---

**小川町地域おこし協力隊  
半年間の活動内容及び成果並びに今後の取組について**

---

**2024年2月19日**

**梅原 学**

# はじめに

2023年10月地域おこし協力隊は2期目(2024年3月迄)となります。

「①東小川地区・旧上野台中学校の活性化に繋げる活動」、「②卒隊後の自走化に向けた仕組み検討」を中心に活動体制の整備を行ってまいりました。活動内容および卒隊後の取組(予定)について、ご報告させていただきます。

- 地域おこし協力隊のミッション.....P3
- 活動成果の概要.....P4
- 活動成果の内容.....P5~P9
- 卒業後の事業活動.....P10~P13
- まとめの言葉.....P14

# 地域おこし協力隊 ミッションと活動概要

ミッション	<ul style="list-style-type: none"><li>• 関係・交流人口の拡大</li><li>• 町のにぎわい創出</li></ul>
主な活動概要	<ul style="list-style-type: none"><li>• 施設利用者・入居企業社員、地域住民等の交流促進に繋がるイベントの実施</li><li>• 旧上野台中学校の利用促進及びコワーキングスペース、レンタルキッチン等の運営支援</li></ul>

# 活動成果の概要(1)

No	大項目	取組内容	活動概要、 ミッションとの関連性
①	地域おこし協力隊の 活動	東小川秋まつり 自治会と連携した企画運営の実施	・東小川地域住民の交流促進、町のにぎわい創出
②		子どものための自転車遊び方教室	・東小川地域住民の交流促進、町のにぎわい創出
③		その他企画提案・運営サポート 「落ち葉のまちの冒険ツアー」	・UECHUを活用した企画創出、町のにぎわい創出、 卒隊後の事業確保
④		その他企画提案・運営サポート 「サイクリングツアー」、「楮食のイベント」	・町のにぎわい創出、卒隊後の事業確保
⑤	卒隊後の事業活動	新法人の検討	・卒隊後の自走に向けての取組

# 活動成果の内容

## ① 東小川秋まつり 自治会と連携した企画運営の実施(中学校先生のスマホ教室)



実施日	2023年10月22日(日)
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・東小川自治会との共同での企画検討、当日の設営・運営のサポートを行った</li><li>・中学生先生によるスマートフォン教室の企画、運営を共同で行った</li></ul>
結果	東小川自治会との人的連携に繋げることができた。次年度以降も何らかの形で引き続き連携を行ってまいりたい

# 活動成果の内容

## ② 子どものための自転車遊び方教室

**自転車は楽しい!**  
**子どものための自転車遊び方教室**



**2024年2月23日**  
(金/祝)

【第1部】11:00～11:45  
【第2部】13:30～14:15

ゲームや遊びを通じて、自転車遊びの面白さやコミュニケーションを学びます

<b>場所</b>	旧東小川小学校 駐車場 埼玉県比企郡小川町東小川2-21	<b>ご予約方法</b> 
<b>募集人数</b>	各回7名 ※定員に達し次第募集終了	
<b>参加資格</b>	3～7歳までの自転車デビューしたい方 身長90～113cmでまだ自転車に乗れないお子様	
<b>参加費</b>	500円(税込) ※当日現金払い(モニター価格)	
<b>含まれるもの</b>	自転車(ペダル無のキャブバイク、ヘルメット、手袋)	
<b>注意事項</b>	※ 保護者同伴にてお願いします ※ 小雨決行となります	※ QRコードよりお申込ください ※ 2月21日(水) 12:00締切

主催: 小川町地域おこし協力隊 梅原学 / 協力: ライトウェーブプロダクツジャパン株式会社

**お問い合わせ**  
小川町役場政策推進課  
担当: 地域おこし協力隊 梅原学 | 電話: 080-5097-1637 (平日9:00～17:00)  
メール: gaku.umehara@gmail.com

<b>実施日</b>	①2023年12月10日(日) ②2024年02月23日(金/祝) ※実施予定
<b>内容</b>	昨年度のサイクリングインストラクター研修の受講内容をベースに自転車教室の企画から運営を行った。
<b>結果</b>	①: 11名 ②: 2名(2月11日現在)  保護者からは「遊びながら学ぶという教育的な観点もあり、とても良かった」、お子様からは「自転車は楽しかった」というお声をいただいた 今後、事業者として行ってまいりたいが収支が見合わない分、どのように運営を行っていくか検討を図りたい

# 活動成果の内容

## ③ その他企画提案・運営サポート 「落ち葉のまちの冒険ツアー」



**WildLeaf Quest**  
落ち葉のまちの冒険ツアー 第1回

落ち葉堆肥づくり 農業体験・収穫プログラム

2023 10/28 土 9:40-13:30頃

ツアー概要  
おいしい野菜のできるヒメツは「落ち葉」!?  
落ち葉のまち・小川町の生きものと野菜を大調査!

参加費用  
大人 1,500円 子供も 1,000円

集合場所  
JA 埼玉中央 八和田支店  
〒355-0312 埼玉県比企郡小川町大字上横田 556

ご予約方法  
左記QRコードのお申込みフォームから  
10/26(木)23:59までにご予約ください



**WildLeaf Quest**  
落ち葉のまちの冒険ツアー 第2回

落ち葉堆肥づくり 食・クラフト体験プログラム

2023 11/25 土 9:40-14:00頃

ツアー概要  
自分でつくる木のディッシュプレートで  
落ち葉のまちのおいしい秋野菜を味わおう!

参加費用  
大人 2,000円 子供も 1,500円

集合場所  
まちのキャンパスUECHU (旧上野台中学校)  
〒355-0315 埼玉県比企郡小川町小川 2丁目22-1

ご予約方法  
左記QRコードのお申込みフォームから  
11/22(木)23:59までにご予約ください



実施日	2023年10月28日（土）→UECHU利用なし 2023年11月25日（土）→UECHU利用
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊泉地さん、農協観光協会、おいでなせえ、風の丘ファームさん、アテリコ新島さん、kinomichi工房早川さんなど関係各所と連携の上、企画提案、実施、運営サポートを行った</li> <li>・11月25日（2回目）はUECHUの理科室、レンタルキッチンを活用し、食と農にかかるイベント運営を行った。</li> </ul>
結果	関係者・各所との関係の深化を行うことができた。当事業を基礎として、今後の事業展開や継続の有無を含めて、検討を図ってまいりたい

# 活動成果の内容

## ④ その他企画提案・運営サポート 「サイクリングツアー」、「楮食のイベント」

一般型		和紙の原料「楮」を活用した観光と食の体験コンテンツ開発事業		埼玉県小川町 株式会社おいでなせえ		＜様式4＞ 事業費：6,380千円 (補助見込額：5,190千円)									
<b>事業の概要</b>		和紙の原料となる「楮」の廃棄される部分（新芽、葉、皮）を活用した新たな体験コンテンツの造成。圃場での収穫体験、飲食店での活用並びに持込による食体験、自転車（サイクリング）を活用した飲食店の回遊ルートの造成を行う。また「楮」の認知度拡大に向けた企画、プロモーションを実施。町内の回遊性向上、再来訪のきっかけを創出し、交流人口・関係創出に繋げる。		<table border="1"> <tr><td>これまでに活用した観光庁事業</td><td></td></tr> <tr><td>看板商品創出事業</td><td></td></tr> <tr><td>域内連携促進事業</td><td></td></tr> <tr><td>誘客多角化事業</td><td></td></tr> </table>		これまでに活用した観光庁事業		看板商品創出事業		域内連携促進事業		誘客多角化事業		※上記当てはまる場合はボックスに○記入	
これまでに活用した観光庁事業															
看板商品創出事業															
域内連携促進事業															
誘客多角化事業															
<b>実施体制</b>	株式会社おいでなせえ、立教大学観光学部西川研究室、VOLバイシクルプラスワン株式会社、東武トップツアーズ株式会社、合同会社ルノムービー、小川町														
<b>地域の課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年11月に細川紙の手漉き和紙技術がユネスコ無形文化遺産に登録がされたが、和紙需要の減少、和紙の原料となる楮の国内生産量の減少、生産者の高齢化などが課題に挙げられる。</li> <li>今後、産業の維持発展には更なる観光プログラムの開発が必要不可欠な状況である</li> <li>埼玉県小川町は東武東上線・関越自動車道で都心から1時間程度とアクセスも良く、回遊する仕組みが出来上がることで、「食」と「農」の体験により新たな和紙の魅力開発に繋がると考えている</li> </ul>														
<b>造成するインバウンド向け観光コンテンツの内容</b>	<p>◆小川町の「和紙」コンテンツの磨き上げ</p> <p>① <b>特産品開発・ツアーの実施</b> 食の6次産業化プロデューサー、食の専門家を招聘し、楮の特産品の開発を図る。継続実施を図るためツアー、旅行会社向けパッケージ開発。今後、地域連携を見据えた横展開の検討実施</p> <p>② <b>認知度拡大に向けたPRイベント・レシピ開発の実施</b> 「楮」の認知度拡大に向けた楮商品のポップアップストア、料理研究家を招聘し、PRイベントとレシピ開発を実施</p> <p>③ <b>サイクリングコンテンツ開発</b> 「楮」の持込可能な飲食店を巡り、観光の要素を追加したサイクリングマップの製作。町内を回遊しながら楮の収穫体験、収穫した楮を飲食店に持込んで食べられる新たな観光体験の造成</p>														
<b>アピールポイント（独自性、地方誘客や観光消費拡大への効果など）</b>	令和元年より「立教大学観光学部西川研究室」と「株式会社おいでなせえ」による和紙の伝統継承、新たな付加価値を生み出す産学連携によるプロジェクトが行われている。取組の結果として、楮収穫体験＆サイクリングツアーの実施、各メディアからの取材、町内の事業者とともに楮商品の開発（ハーブティーや焼き菓子など）を実店舗やイベント等で販売実施を行った。また現在、株式会社おいでなせえが「楮」の商標登録をしており、楮コンテンツが小川町の新たな誘客装置になる可能性が期待できる														
<b>スケジュール</b>	6～7月/調査検討、7～9月/企画開発、販売、ツアーの実施、10～12月/各イベント実施、1～2月/効果検証・次年度以降の継続的実施にむけた課題検証・戦略策定														

<b>実施日</b>	10月8、21、11月4日： サイクリングツアー 11月23日： 楮食のイベント
<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楮関連の企画設計・運営サポートを行った（①楮、和紙のストーリーを体感できるサイクリングツアー、②関係者および一般向け食のイベントのサポート）</li> <li>和紙学習センター関係者との企画設計を行った</li> </ul>
<b>結果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者・各所との関係の深化を行うことができた。当事業を基礎として、今後の事業展開や継続の有無を含めて、検討を図ってまいりたい</li> <li>11月4日のサイクリングツアーは10名すべて外国人であった。インバウンド受入に向けた体制の強化・課題の集約を行うことができた</li> </ul>



# 卒隊後の事業活動

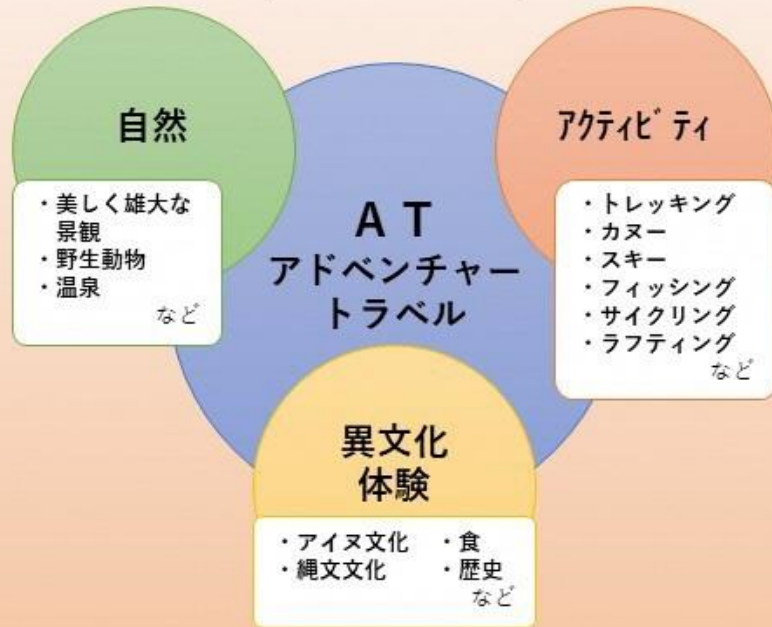
2024年4月以降の卒隊後のメインはアドベンチャーツーリズム(インバウンド)、サイクルツーリズムを普及に向けた活動を行います。新法人の設立を行う予定ですが、課題は資金調達および資金繰りという点にあり、設立時期等も含めて現在検討を行っています。

- ① 小川町・比企地域を中心としたアドベンチャーツーリズムの適地実現に向けたエリアブランディング・地域資源の磨き上げ、開発・体制確立に向けた取組実施
- ② 関東を中心としたアドベンチャーツーリズムを専門とする観光オペレーション会社の確立(旅行事業者、海外エージェント向け)
- ③ 日本全国のアドベンチャーツーリズム普及に向けたコンサルティング
- ④ 欧米式のサイクルツーリズム(ツアー運営、ルート設計などのデベロップメント)の導入に向けた取組

# アドベンチャートラベルとは？

## アドベンチャートラベル（AT）の概念

### （ATの3要素）



### （ATの5つの体験価値）

今までにないユニークな体験 - The Novel and Unique -	その他の場所では味わえない、 その地ならではの体験がある
自己変革 - Transformation -	体験を通じて、自己が成長・変化 していくことができる
健康であること - Wellness -	旅行前よりも心身ともに健康に なった感覚を得ることができる
挑戦 - Challenge -	身体的・精神的にさまざまな 意味合いでの「挑戦」の要素が 体験に含まれている
ローインパクト - Impact -	体験にあたって、文化や自然に対して インパクトを最低限に抑えられると 感じられる

### 【一般的な定義】

アクティビティ、自然、異文化体験の3要素のうち、2つ以上を含む旅行形態。

アドベンチャートラベル ≡ アウトドア  
※アウトドア活動だけでは必ずしもATとはいえない

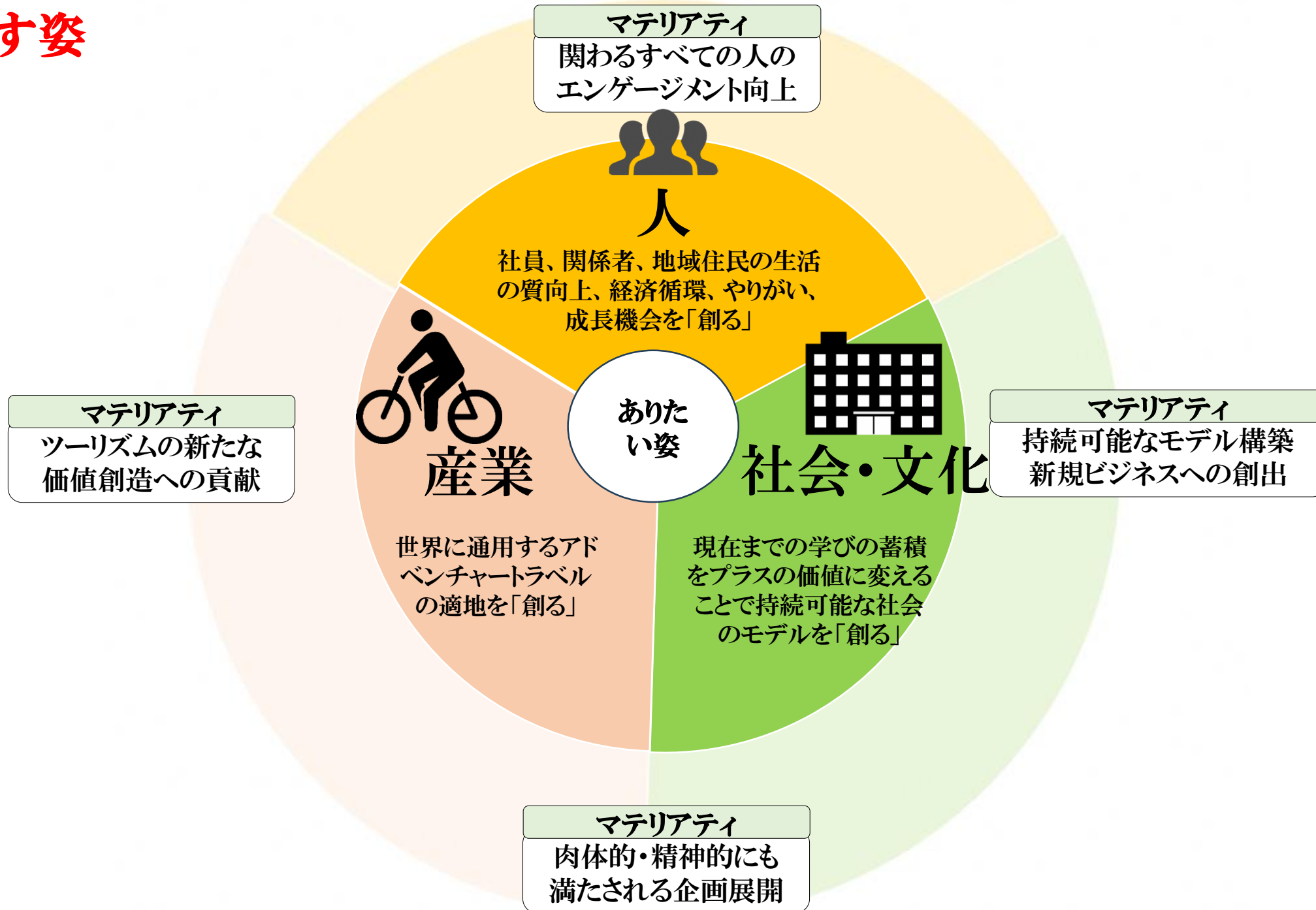
### より本質的な理解

アクティビティを通じて自然体験や異文化体験を行い、地域の人々と双方向で触れ合い楽しみながら、その土地の自然と文化をより深く知ることで自分の内面が変わっていくような旅行形態を指す。

## ～ 心がおどる本物の体験価値を創る ～

アドベンチャーツーリズム(自転車 × 農業 × 教育)を通じて  
「人」・「地域」・「文化」を豊かにそして発展させる  
事業・企画をプロデュースいたします。

# 目指す姿



# 事業全体の概要

## 自社リソース

### 地域×観光 ブランディング開発

アドベンチャーツーリズムを中心とした地域の戦略策定、企画設計のサポートから運營業務を実施。地域のニーズに合わせた企業間、地域連携を見据えたセールスマッチングや集客等にて地域のブランディング向上に繋げる

### サイクルツーリズム 推進事業

一般社団法人日本サイクルツーリズム推進協会と連携し、欧米式のサイクルツーリズム(ツアー運営、ルート設計などのデベロップメント)の導入に向けた取組を行う

### 人財育成研修事業 (次年度以降)

農業、自転車、ガイド育成を中心とした法人独自のプログラムもしくは他団体と連携の上、ガイド力×人財育成×人間力の形成につながる研修を行う

### オペレーション事業 (次年度以降)

海外エージェントを対象にツアーオペレーションを実施する。エリアは比企をはじめとする関東中心を予定しているが、オールジャパンとして海外にコンテンツを売り込むためのセールスも合わせて実施する

## 地域連携

### 社会貢献型事業

地域でのプロジェクト・課題集約・社会貢献企画実施を行い、関係者との関係性構築を図る(例: 自転車教室、ゴミ拾いイベント等)。

### コミュニティ創出事業

地域の人的資源を活かしたオリジナルプロダクトの企画(CSR、会員制コミュニティサービス)の立案、コミュニティサービスの構築を図り、人的交流のモデルを創出する

## まとめの言葉

至らぬ点ばかりでしたが、今後の活動に向けて地域おこし協力隊はとても良い経験となりました。  
卒隊後も小川町、比企をはじめとしてさらなる魅力向上に繋がるよう誠心誠意取り組んでまいりたいと思います。

ご清聴  
有難うございました

